

令和3年2月1日

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

花の木古墳群・花の木遺跡発掘だより

No.9

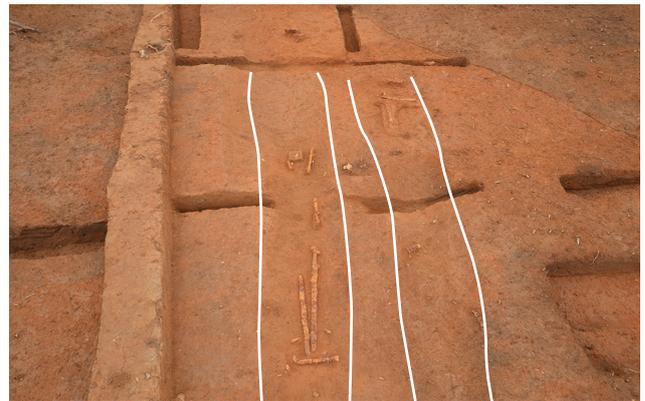
◎古墳群の主体部の調査を進めています

今回新たに調査を行っている3号墳、5~7号墳の各古墳は墳丘を構築する前にお棺を入れる主体部を造り、埋葬後に周溝を掘って、その土で墳丘を盛り上げていることが判明しました。3号墳は調査前の地表面から1m近く下がった地点で主体部が見つかり、流出した盛土も考えると、埋葬してから2m近くも盛土をして墳丘を造っていたことが想定されます。

3号墳や6号墳の主体部からは副葬品の出土はありませんが、7号墳の主体部からは鉄製の武器と農工具が出土していて、勾玉も一緒に出土しています。



3号墳盛土の状況



7号墳主体部鉄製品出土状況
白線で囲まれた部分がお棺の範囲です

◎弥生時代の集落跡

古墳群の調査と並行して、下層にある弥生時代の集落の調査も行っています。古墳の造られていない場所には10棟以上の建物跡が見つかりました。

7号墳の南の尾根の先端には4本の柱が想定される竪穴建物が建てられていました。



157SI 完掘状況

